

# 蒲郡東部小 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

令和2年5月21日

- マスクを着用し、「密閉」「密集」「密接」の三密を避けるよう対処します。
- 新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、偏見を生じないようにします。
- 自らの健康について考え、自分や仲間の行動を正して、学校生活を送ることができるようにします。

## 1. 朝、登校時は

- (1) 家庭で検温をし、異常があれば学校に連絡し、登校しません。 ☞ 別掲
- (2) 通学団登校では手をつなぐず、間隔（以降基本1M以上）を開けます。
- (3) 教室へ入り、手洗い・消毒をします。
- (4) 担任は登校完了時に『蒲東小体温チェックカード』を点検し、丁寧に健康観察をします。

## 2. 授業中は

- (1) 座席は前後左右を可能な限り間隔を開けます。
- (2) 教壇に対し前向きの机配置を基本とします。
- (3) エアコンの利用に関係なく換気については最大限の注意を払います。
- (4) 教科ごとに感染防止対策の授業の方法を工夫します。

## 3. 放課は

- (1) 授業時間後は窓を全開にし、換気に努めます。
- (2) 三密を避けるような遊び方を工夫させます。
- (3) 教室へ戻る際に石鹸で手を洗います。



## 4. 給食時は

- (1) 全員が石鹸で手を洗った後、消毒をします。
- (2) 配膳室では、印に従い、混雑を避けて取りに行きます。
- (3) 給食の配膳台と教室の机は、消毒液で丁寧に拭きます。
- (4) アルコール消毒後、当番以外の人は食器に触れないようにします。
- (5) 授業同様に前向きの机配置で、静かに食べます。
- (6) 食べ終わった人から密にならないように気を付けて片づけ、歯を磨きます。

## 5. 清掃時は

- (1) 密にならないよう清掃担当区域を工夫し、無言清掃をします。
- (2) 清掃終了後、教室へ戻る時は、手洗いをし、消毒をします。



## 6. その他

- (1) 下校も手をつなぐず、間隔を開けて帰ります。
- (2) 感染症に対する偏見が生じないよう学校教育全般にわたり指導します。
- (3) 集会を行う場合は、三密にならないように配慮します。
- (4) 子どもが頻繁に触れる箇所（ドアノブ等）は常に消毒をします。
- (5) トイレの使用についても間隔をとるようにします。トイレの清掃消毒は職員が行います。
- (6) 手洗い場、廊下に目印を貼り、一定の間隔を意識して生活できるようにします。
- (7) 感染者が出たり、濃厚接触の疑いがあったりした場合は、市教育委員会、保健所と連携を図っていきます。

## 別 掲

### ◆家庭での感染予防のお願い

1 登校前に、丁寧なお子さんの健康チェックをして、登校を決めましょう。

#### チェックポイント

- ・不調な症状（\*昨夜からの不調や発熱があった場合も含める）
- ・呼吸器系の症状 →「咳、のどの痛み」
- ・発熱の様子 →「いつもより高い、体調不調の症状がある」 \*微熱も要注意!
- ・体調 →「体のだるさ等」「においや味のおかしさ」（一般的に37度前後）
- ・いつもと違う様子（\*顔色や食欲・寝起きなどの生活習慣の様子も振り返る。）

2 早期対応をして、感染拡大の予防をすすめていきます。

★症状がある場合は、軽症でも早退をお願いすることがあります。

★持病（呼吸器系の病気）がある方は、健康管理に留意いただき、不調な場合はご家庭で十分休養をしてください。学校生活で配慮すべきことがありましたら、担任に伝えてください。

3 十分な睡眠・栄養バランスのとれた食事・適度な運動を行い、健康管理をしましょう。

#### 毎日、持ってくるもの

- ・「蒲東小体温チェックカード」 \*お子さんの健康管理に生かします。
- ・マスク(着用) \*忘れた時は学校のを渡し、家庭のを返却していただきます。
- ・ハンカチ(タオル)、ティッシュ \*手洗いをする機会が増えます。
- ・水筒 \*熱中症の対策として水分補給を行います。